

**授業概要**

社会生活を送っていく上で、日本語で相手に自分の言いたいことを正しく伝えられるかどうかは非常に重要である。分かりやすい日本語とはどんなものか、自分の意見を分かりやすく表現するにはどうすればいいか、これからの社会生活で必要になるとと思われる基本的なコミュニケーション能力を身につけ、向上させられるよう、講義ならびに実践練習を行う。

**授業計画**

第 1 回	日本語の特徴を考える
第 2 回	主語と述語のねじれ
第 3 回	あいまいな修飾関係
第 4 回	呼応の間違い
第 5 回	尊敬語、謙譲語、丁寧語
第 6 回	漢字の知識
第 7 回	原因・結果・理由①
第 8 回	原因・結果・理由②
第 9 回	接続語を正しく使う
第 10 回	報告文書を作る
第 11 回	依頼文書を作る
第 12 回	主張と具体例
第 13 回	反論を想定した主張
第 14 回	対比の構造
第 15 回	授業のまとめと期末試験について
第 16 回	筆記試験

**到達目標**

正しい日本語を使って、分かりやすい文章を書くことができるようになる。

**履修上の注意**

講義形式ではあるが、授業の中で実際に文章を作ってもら場面が多くあるので、積極的に臨んでもらいたい。日本語話者であれば、特に前提となる知識は必要としない。

**予習・復習**

授業の最後に、その回の授業の内容に関係した課題を提示し、授業内に提出してもらう。次の授業でその内容を振り返るので、自分の書いた内容については記憶にとどめておいてもらいたい。また、授業内容は積み上げ式のものなので、一回一回の授業をきちんと自分のものにしておくこと。

**評価方法**

期末試験によって成績をつける（100%）。期末試験は、事前に提示した課題に添った作文を含む。また、授業を通して発見したこと、あるいは疑問に思ったことなどを自由に書いてもらう設問を含む予定である。

**テキスト**

プリントを作成して配布する。